



北緯40度東端の地球村

広報

ふだい

2011
12
No.595



アイ ニード ユー
「I need you〜♪」

真っ赤な衣装を身に付けアイドルグループ「AKB48」にふんする園児たち。「I want you〜♪ I need you〜♪」と曲が流れると元気いっぱいダンス。園児たちのかわいい仕草に観客も自然と笑顔になっていました。(関連記事18頁)

主な内容

特別企画「歩み続けた普代村」	2～13
村消防団に大臣表彰、学校保健大会ほか村の話題	14～17
イラスト展、おとうさんおかあさんあのね	18～19
くらしの情報	20～21



自然が猛威を振るう元旦の白井漁港



大しけで被害を受けた養殖ワカメ



津波犠牲者の冥福を祈った津波記念日慰霊祭

ていました。
1月下旬、漁師たちは少しでも被害を取り戻そうと、通常11月から12月上旬につけるコンブの種苗を付け始め望みをつなげました。
そんな中、1月5日には新年恒例の村成人式が管理センターで行われ、新成人28人（対象者38人）が大人の一步を踏み出しました。同日には国民宿舎「くろさき荘」で新年交賀会も行われ、議会、各種産業団体など約60人が参加。皆が村の発展を願いました。

なかったものの、水揚げは例年の7割程度に留まりました。
そして3月上旬、村漁協は太田名部市場にポール加工用の資材を設置し、数日後に控えたワカメ漁の準備を完了しました。

1月 ▼村成人式(5日・管、新成人28人出席) ▼新年交賀会(同・くろさき荘、60人参加) ▼鵜鳥神楽巡業(8日・北回り) ▼消防団出初式(9日・170人) ▼普代中吹奏楽部が県アンサンブルコンテストで金賞と銀賞受賞(22日) 2月 山田彩香さんが管打楽器ソロコンテスト東北大会で金賞(27日) ▼普代一岩泉線農業用道路が完成(19日)

春まだ浅い3月3日、中央区と太田名部で津波記念日慰霊祭が行われました。
前深渡宏村長や消防団員、住民ら約50人が昭和8年の三陸大津波の死者137人（黒崎2人、太田名部99人、普代29人、堀内7人）の冥福を祈りました。それは明治29年の三陸大津波から115年、昭和の三陸大津波から78年目の祈りでした。

昭和から78年目の祈り
たか想像できません。昭和の津波で母親を失ったという同地区の合砂トワさん(85)は、「毎年この記念碑の前で泣いでんよ」と涙していました。
津波の記憶を語り継ぐ人は少なくなり、現実には「いつかは来るだろうが、自分たちの時代には来ないだろう」と皆が思っていたのかも知れません。

白昼に大きな揺れ
その6日後の3月9日でした。白昼に大きな揺れが襲ったのです。
午前11時45分ごろ、三陸沖を震源とする地震が発生し、宮城県北部で震度5弱、盛岡市や久慈市などで震度4を記録しました。気象庁は岩手県、青森県太平洋側、宮城県、福島県に津波注意報を発令。津波は久慈港で50センチを観測しました。津波注意報は午後2時50分に解除されましたが、その後も余震が続きました。
このときちょうど村では「しよいの口」といわれる

まつもやふのりを採取する磯漁に漁師たちが出ていました。村は143世帯452人に避難勧告を出し防災無線で放送しましたが、磯漁の漁師たちには放送が聞こえず、誰がどこに避難したのか確認できず、津波の周知方法について課題が残りました。
しかし、普代に到達した津波は数十センチ。ちょうど1年前（平成22年）の3月の大津波警報ですら1メートル程度。「また、この程度か」。絶対に過信してはいけないことは知っていても、皆はまた普通の生活に戻りました。そして、その2日後の3月11日、とんでもない大津波が東日本を襲いました。



東日本大震災の前日3月10日の新聞記事



皆で力を合わせ気の遠くなるほどのがれきを撤去(太田名部市場)



船や漁具、市場をのみ込み破壊した大津波。平成23年3月11日を忘れることはない



1月3日の新聞記事。散々な幕開けの新年でした



大津波でワカメの養殖施設1300台は全滅

激動の1年の記録 歩み続けた普代村

大荒れの新年、牙をむいた大津波、どうにもならない悲しみ…。復興への長い道のりが始まった中、不安を抱えながらも覚悟を決め、普代は前へ進んできました。多くの皆さんに支えられ一歩ずつ歩んできた、激動の1年を振り返ります。

新年から漁師落胆
平成23年1月元旦。思い起こせば山は大雪、海は大荒れ。波乱の幕開けでした。村内をみると、12月下旬から海は荒れ狂い、定置網を破壊、10メートルを超え大波が7つの漁港を襲いました。
養殖施設はだんご状態となり、転覆する漁船も続出。養殖ワカメの4割、養殖コンブの3割強が流失。漁師たちは「新年からこんな状況では…」とがっかり。漁業関係の被害額は7億円にも及びました。
平成に入ってからの高波被害は、平成3年2月の13億7000万円、同18年10月の6億2000万円。ここ20年の間に3度も大きな被害を受けました。
特に養殖ワカメは「スイクダムシ」という微小な原生動物の付着で壊滅的だった昨年に続く大打撃。サケの不漁に続き、海が荒れてアワビ漁も振るわない中、今季のワカメは順調に育つ

※◎は管理センター、◎は役場

3月11日、巨大津波襲来

3月11日、午後2時46分。突然の長い横揺れ。そのとき広報は普代小学校で取材をしていました。

先生らはテレビやキャビネットを必死に押さえますが揺れは収まらず、さらに大きくなっていきました。

揺れが続く中、電気、電話が止まり、防災無線もストップ。役場の震度計は5強を観測しました。一瞬村は静まりかえりましたが、その後消防車両がサイレンを鳴らし、「大津波警報」を呼び掛けました。

幸いこのとき普代小は午前授業で137人の全児童はすでに下校していました。

太田名部防潮堤には漁師たちが集まり、海を眺めていました。普代分署から監視カメラで海を見ていた消防署員が第一波の大きさに驚き、遠隔放送でさらに避難を呼び掛けました。

地震から約40分後の巨大津波は想像を絶する大きさに漁港の全てを破壊。村の6つの漁港は壊滅。600隻あつた漁船は50隻しか助かりませんでした。村の人的被害は、堀内漁港に船を見に行つた際に津波に飲まれた1人が行方不明。野田村の国道などで7人が被災しました。

普代水門を超えた黒い塊

「バキ、バキ」と防潮林をなぎ倒し、黒い塊が普代川を逆流してきました。巨大津波が普代水門に押し寄せる瞬間を話すのは久慈消防署の立白勝さん（当時普代分署副署長。余震で負荷がかかり緊急停止した陸甲を閉めに行つてのことでした。「15・5mの水門を6mは超えたでしょう。もつと津波が高かつたらすごい被害になつていたと思います」と振り返りました。すさまじい津波の破壊力。

自然の破壊力の前に

人は無力だった

全児童生徒が卒業

自然の猛威の前に人間はなすすべもありませんでした。役場災害対策本部では、消防署員、消防団、役場職員などが徹夜で村民の安否や被害状況を確認。管理センターと堀内漁村センターには、約400人が避難し不安な夜を過ごしました。

不足する医薬品、燃料

被害の全容が明らかになる中、2日後にやっと津波警報が解除。皆胸をなで下ろしましたが、強い余震に悩まされ眠れない日々が続きました。医薬品やガソリン、灯油が不足しスタンドには長蛇の列ができました。津波襲来の3日後には電

気が復旧。早朝から漁業者や消防団、建設業者、漁協、役場職員らががれきでふさがれた道路などの復旧作業にあたりました。作業もままならない中、数日後無情にもがれきの山に雪が降り積もりました。

3月18日、普代小と普代中の卒業式が行われました。普代小は統合後初めての卒業式でしたが、余震が続く中、津波を警戒して役場での式でした。何より全児童生徒が卒業できたことに皆が安堵しました。

次第にがれきの撤去が進む中、作業を終え家に帰ると漁師たちは、不安に駆られました。

エチゼンクラゲでのサケの不漁、スイクダムシでの養殖ワカメ被害、年末の大しけ被害。そして想像を超えた大津波で船も作業場もなくした漁師たち。

「この先どうやって食べていったらいいのか…」不安がよぎり、苦悩の日々が続きました。

- ▼3月 ▼津波記念日慰霊祭(3日・太田名部、60人が追悼)
- ▼普代小卒業式(18日・同校)
- ▼普代中卒業式(同・同校)



母校ではなく役場で迎えた普代小の卒業式



海に背を向け、がっくりと肩を落とす漁師たち



転覆する漁船。ほとんどが使い物にならない



総動員で臨んだがれきの撤去作業



津波直後の太田名部漁港。ただただあぜん…



引き波が家の屋根までさらっていきます(堀内漁港)



普代分署の監視カメラが捉えた普代水門(高さ15.5m)を超える黒い津波(15:28)



上の写真と同じ場所から県道を撮った午前中の映像。奥が普代浜方面

左：水門を超えた付近は防潮林がなぎ倒されました



太田名部防潮堤から被害を見る漁師たち。言葉もない

先が見えない不安

大津波から1カ月が過ぎ、がれきの撤去と平行して、壊滅状態となった養殖施設の撤去作業が始まりました。約1300台の養殖棚は全滅。沖では漁師たちが連日、養殖ワカメのロープに引っかかった松の木をチェーンソーで切るなどの重労働を強いられました。疲れはピークに達していましたが、それでも前へ進むしかありませんでした。



ロープに引っかかった丸太の撤去作業

津波での被害額は過去最高の48億円にも上ります。漁協は、役場は、どんな支援を考えているのか…。漁師たちは先が見えない不安を抱えています。

「船がなければどうしようもない」「みんな津波に流

漁師を続け、震災前の暮らしに戻ることは、簡単ではないと分かっている。家族にも苦勞をかける。しかし…

ちっぱり浜しかない



6月7日、震災から88日ぶりに解禁となった天然ワカメ漁。共同船での漁でしたが、輝く海面が初漁を祝福しているようでした



野崎平一さん

「それでも昭和の津波よりはいい。死人が出なかったから。心の痛さが違う。」

「それでも昭和の津波よりはいい。死人が出なかったから。心の痛さが違う。」

「今頑張らないでどうする。戦争、昭和の大津波、昭和38年のフエーン大火など幾多の試練の中で生きてきた野崎平一さん(91)は、震災後の広報のインタビューでそう話しました。「おれらが今こうして生きているんだ。お前たちも必ず復活できる」。野崎さんの目がそう語り、厳しくも力強く漁師たちを応援しているようでした。

5月21日、普代小大運動会が行われました。いつもより多い大漁旗がなびく中、子どもたちが一生懸命な姿を見せ、皆に元気を与えてくれました。

浜に笑顔が戻った日

6月7日、待ちに待った天然ワカメ漁が口開けになりました。津波から助かった小型漁船を使って共同での作業でしたが、震災後初めてのまとまった水揚げに久々に浜に活気がみなぎりました。

「みんなといれば元気がでるよ」「やっぱり浜はいいよ」。浜に笑顔が戻りました。大金にはならないが、浜で漁ができた。それは震災前と比べると小さな幸せでした。でも、同時に大きな喜びであり、かすかな希望の光でした。「漁師は浜に出て金を稼ぐ」。それができた

壊れたままの市場の前で笑顔を見せワカメの選別作業をする漁師たち(堀内漁港)



ことで漁師たちは少しずつ震災の痛手を乗り越えていきました。

押し寄せる報道陣

そんな中、「普代水門」と「太田名部防潮堤」が大津波を食い止め、住宅の浸水被害がゼロだった村は、すぐさま全国、世界的にも話題となり、各国のテレビ局が押し寄せました。

アメリカ、イギリス、オーストラリア、韓国、各テレビ局、新聞社など、報道陣が水門を視察。元和村幸得村長(故人)の先見の明に対し敬意を払う記事や、公共施設のあり方などを問う記事が見られ、視察は後を絶ちませんでした。

6月26日には村長、村議選が行われ、12年ぶりに榎屋伸夫新村長が誕生。活力ある村づくりを掲げました。新議員10人も決まり、大上浩史議長、金子泰男副議長が選ばれました。

一方、市場は着々と修復され、7月には漁協定置網と二子網の2カ統が操業。

県内でいち早く市場を再開しました。7月12日には役員改選で漁協組合長に前川健吾氏が選ばれました。

同23日には、「みんなが普代浜をキレイにしよう!大作戦」が行われ100人が早朝から汗を流し「きれいな砂浜が復活してほしい」と皆が願いました。

4月 ▼ はまゆり子ども園が開園し初入园式(8日、同園) ▼ 普代中入学式(6日) ▼ 普代小入学式(7日) ▼ 村の平成23年度一般会計予算は23億7300万円 5月 ▼ 鶴鳥神社で震災復興祈願祭(10日)・鶴鳥神楽が県指定無形民族文化財に指定 ▼ 普代小大運動会(21日) 6月 ▼ 12年ぶりに榎屋伸夫新村長が誕生(26日) 7月 ▼ 村議会議長に大上浩史氏(2日) ▼ 佐藤勲行政相談員に総理大臣感謝状(6日) ▼ 漁協組合長に前川健吾氏(12日) ▼ 全国乾椎茸品評会で正路正敏さんと中居齊さんが2等賞 ▼ 農業委員10人が決まる(20日) ▼ 佐藤勲さんに法務大臣感謝状(25日) ▼ 普代中神楽同好会が仙台の被災地で神楽を披露(22日)

多くの皆さまの 温かい心に感謝

今回の震災で励ましの言葉や救援物資、義援金などさまざまな形で多くの皆さまからご支援をいただきました。震災直後の混乱の中にあつた村にとって、またその後の復興を描

く村にとって、皆さまの温かい心が勇気と希望を与えてくれました。これまで支え応援して下さった全ての人に感謝いたします。本当にありがとうございました。



①⑩⑫⑭⑲震災2日後には普代入りし行方不明者の捜索にあつた緊急消防援助隊（栃木県隊）の皆さん ②村に1千万円を寄付して下さったノヴィル㈱の久岡征司社長ら ③ふるさと矢巾会からの支援金を活用して購入した漁船 ④矢巾町から届いたお米 ⑤普代駅に集合した栃木県隊の皆さん（車両20台、89人） ⑥㈱タガギの高城寿雄社長が1,560万円を寄付 ⑦ミュージシャンの太田代将孝さんがはまゆり子ども園でコンサート ⑧川村光朗矢巾町長、ふるさと矢巾会村松充会長らが寄付 ⑨不来方高校音楽部34人が支援コンサート ⑩炊き出しをしてくれた自衛隊の皆さん ⑪大阪市からの救援物資を積んだトラック ⑫いち早く義援金をくださったふるさと普代会の皆さん ⑬名古屋市民からは車が届きました ⑭船を探してくれたり、個展を開催し募金をくださった東京の熊谷義重さんと小野真紀子さんら ⑮たくさんの励ましのお便り ⑯イーハトーブトライアル大会参加者の皆さんからの寄付 ⑰村の復興願い開催された絆コンサート ⑱矢巾町保健推進員の皆さんが寄付 ⑲全国から届いた救援物資 ⑳利扇会の外館利子さんが寄付 ㉑太田名部を巡回する自衛隊車両 ㉒県町村会から寄付 ㉓葛巻町からの救援物資 ㉔産直岩清水さんからの救援物資 ㉕㈱ヒラトヤが売り上げの一部を寄付

8月 ▼震災後初のウニ漁解禁(12日) ▼第8回ビーチバレーボール大会(7日・普代浜、15チーム参加) ▼戦没者追悼平和祈願祭(5日) ▼うねこり荘で夏まつり(6日) ▼57回村長旗野球大会(14、15日・(北)ほか、白井チーム優勝) ▼和村幸得氏顕彰碑を要望(24日) ▼35回イーハトーブトライアル大会(28日) ▼養殖施設復旧のため漁師が総出で8万個の土俵詰め(下旬・太田名部漁港) 9月 ▼ふだいまつり(3・4日) ▼総合防災訓練(25日・550人参加) ▼合同敬老会(27日) 10月 ▼くさき小規模多機能ホームが完成(1日) ▼はまゆり子ども園の初運動会(8日) ▼スポーツレクリエーション祭(9日) ▼黒崎マレットゴルフ場開場式(16日) ▼第23回ふるさと普代会の集い(30日・東京都) 11月 ▼平成22年度的一般会計決算額は32億2239万円 ▼村文化祭(2日〜4日) ▼税の作文入賞者8人を表彰 ▼交通安全全市民大会(同、80人参加。交通安全ポスターコンクールの入賞者15人を表彰)

天に響け！ 子どもたちの応援歌

「たすかに今は苦しい。ほんでも、絶対にふっこうさせんが。体育館にこだまする子どもたちの叫び。」

10月22日、普代小学校で行われた学習発表会。カツパ姿になった5年生28人が「逆境を力にく普代漁師の挑戦」という創作劇を演じました。

復興誓う漁師を熱演

「絶対にふっこうさせんが。体育館にこだまする子どもたちの叫び。」

10月22日、普代小学校で行われた学習発表会。カツパ姿になった5年生28人が「逆境を力にく普代漁師の挑戦」という創作劇を演じました。



普代漁師の挑戦を熱演した普代小の5年生28人

子どもたちは、養殖ワカメやすぎコンブ、定置網を立ち上げた先人の諦めない普代漁師の生き様を描き、震災後に復興を誓う漁師を熱演。温かみのある普代弁のせりふを響かせました。子どもたちの真剣な演技に、保護者らは目を細めながら、大きな拍手を送りました。

同劇を企画指導した関戸健治教諭は、「子どもたちは最初ただせりふを言うだけでした。これでは意味がない」と思い『何のためにこの劇をやるのか』みんなで話し合いました。『普代を元気にしたいし、自分たちの頑張る姿を見せたい』次第に

そんな気持ちでみんながまとまっていききました。当日は思いのこもったいい劇でした」と振り返りました。

漁師を演じた子どもたちの中には津波で船や作業場を失った親もいます。子どもたちの熱演は父への応援歌でもありました。漁師役を演じた太田慎君は「普代の漁業が復活するよう頑張りました」と思いを話し、母の千明さんは「3月11日」という言葉が出てきたとき自然と涙が出ました。みんなの言葉が心にしみました」と語りました。

子どもたちの応援歌が天に響き、踏ん張る普代漁師たちに追い風が吹くことを願わずにはいられません。



カッパ姿にねじりはちまきで、普代漁師に熱いエールを送った子どもたち

児童生徒らと大合唱

東京でミュージックスクールを経営する坂本博士さん(79)。坂本さんは43年前、三陸大津波を題材にした自身創作のミュージカルの取材のため村を訪れ、宿泊したという村に縁のある人物。

12月3日、坂本さんは昨年続き三たび村を訪れ、東日本大震災復興支援「絆コンサート」(実行委主催)を社会体育館で開きました。

普代中2年の太田拓希君と普代小6年の太田若那さんが「この曲に感謝の気持ちとこれから頑張っていく」という決意、ふるさと普代を思いながら歌います」と誓い、坂本さんが村の復興を願い作詞作曲した「絆」を普代小、普代中の児童生徒と一緒に歌い、約400人の会場が一体となりました。

坂本さんのほか、坂本さんが経営するミュージックスクールで指導するソプラ

ノ歌手やスクールの生徒、普代・野田・田野畑の3村での合唱団コーラス・ライオット風などが出演。「絆」

「絆」が生んだ 大きな希望のコンサート

「私にできることは音楽で励ますこと。普代でコンサートを開いて皆さんを勇気づけたい、子どもたちを励ましたい」。普代に縁のある音楽家坂本博士さんのそんな思いから生まれた「絆コンサート」。音楽の力で希望が生まれ一つになりました。

のほか、坂本さんが普代村を思い作った4曲を含む16曲を披露。最後は一人一人が手をつなぎ、輪になって合唱しました。

坂本さんは「津波であの美しい普代の景色がなくなつたと思うと深い悲しみが湧いてきました。いつも普代のことを頭に浮かび、皆さんを励ます歌詞が浮かんできました」とまるで普代がふるさとのように振り返りました。

普代中吹奏楽部の森田真以さん(2年)は「坂本先生たちの普代を思う気持ちが伝わってきました。私も同じ音楽をやっているのだから、人に勇気や感動を与えられる音楽を目指したいです」と話していました。



村の復興願った「絆」を心一つに皆で合唱しました

坂本さんは「この空の下、心と心でいつでもみんながつながっていることを忘れないでほしい」と復興を願っていました。

「絆」
作詞・作曲 坂本博士

ひとつの心から生れる絆
くじけない くじけない
くじけない
前に向かって歩いてゆこう
希望を大空にひろげよう
悲しみも涙ものりこえて
雪が溶けて
いつかまた春が来るように
いつの日か
本当の笑顔になるように
前に向かって歩いてゆこう
明るい花が咲くように
絆の向こうには
大きな 大きな 希望がある



普代の復興を願い、コンサートを開いた坂本さん。「音楽の力で普代を支援し続けたい」と話していました



勇気が湧いてくる

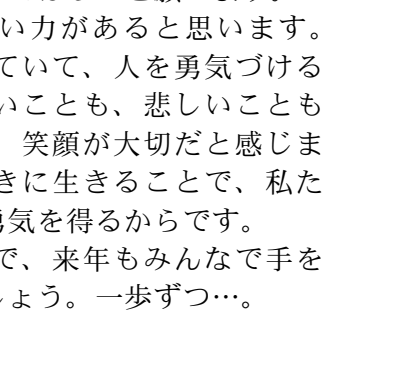
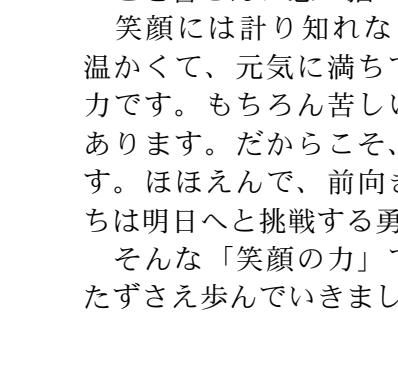
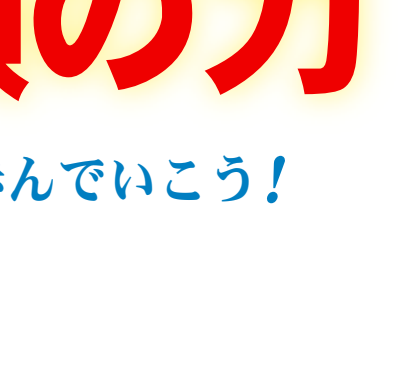
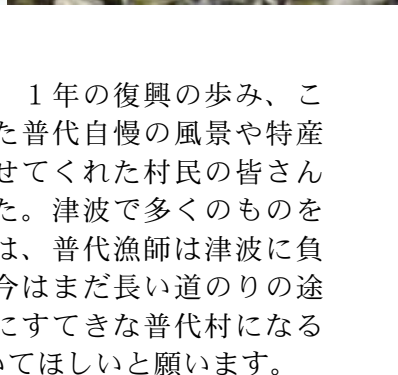
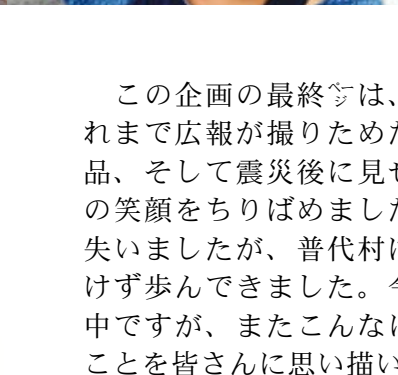
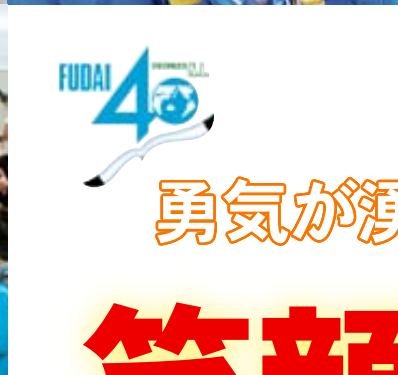
笑顔の力

一歩ずつ歩んでいこう！

この企画の最終日は、1年の復興の歩み、これまで広報が撮りためた普代自慢の風景や特産品、そして震災後に見せてくれた村民の皆さんの笑顔をちりばめました。津波で多くのものを失いましたが、普代村は、普代漁師は津波に負けず歩んできました。今はまだ長い道のりの途中ですが、またこんなにしてきな普代村になることを皆さんに思い描いてほしいと願います。

笑顔には計り知れない力があると思います。温かくて、元気に満ちていて、人を勇気づける力です。もちろん苦しいことも、悲しいこともあります。だからこそ、笑顔が大切だと感じます。ほほえんで、前向きに生きることで、私たちは明日へと挑戦する勇気を得るからです。

そんな「笑顔の力」で、来年もみんなの手をたざさえ歩いていきましょう。一歩ずつ…。



村消防団に大臣表彰

東日本大震災で災害活動に尽力



総務大臣表彰を受賞した村消防団。左から三船隆久副団長、
榎屋村長、小屋敷団長、宮下利明副団長、金子泰男本部長

東日本大震災の切迫した状況の中、危険を顧みず積極果敢に災害活動に従事したときれ11月9日、村消防団（小屋敷亮二郎団長、団員135人）に総務大臣表彰が贈られました。

た幹部会の後、「大震災における一連の災害活動が認められ栄えある賞をいただきました」と小屋敷団長らが榎屋村夫村長に受賞を報告しました。

榎屋村長は「消防団の皆さんには本当に感謝している。今回の活動をさらに住民への指導、また訓練に生かしてほしい」と話しました。同消防団は3月11日の震災時に迅速な避難誘導をしたほか、さらに水門を閉鎖。団員の迅速な行動により、村では住家への浸水被害もなく、行方不明者1人と被害は最小限に食い止められました。



表彰状を手にする澤口さん、星野さん、森田君

このほど普代中学校（小橋正嗣校長、生徒81人）3年の星野うららさんが東北地区納税貯蓄組合連合会長賞に、澤口未来さんが久慈税務署長賞に、森田周君が久慈地区納税貯蓄組合連合会長賞にそれぞれ選ばれました。

中学生税の作文コンクール 星野さんが東北納貯連会長賞

第21回村学校保健大会で表彰や講演 「二日一日を精いっぱい生きて」

子どもたちの健やかな成長を願い、第21回村学校保健大会が11月16日、普代中学校で行われました。

大会にはPTA関係者など約100人が参加。図画・ポスターコンクールの入賞者19人とむし歯ゼロの児童生徒78人を表彰、紹介しました。

講演では、村国保医科診療所の大原美緒所長が「先輩と



大原医科診療所長

して普代村の子どもたちに期待すること」と題して講演。大原所長は、人間関係で悩んだ中学時代、負けないで学校に通ったこ

とや祖父が病気になるまで亡くなったことをきっかけに小学5年から医師を目指したことなどを話し、「全ては自分次第。親からもらった大切な人生です。一日一日を精いっぱい生きてください」とアドバイスしました。

- 図画・ポスター・標語表彰
- ◇ 小学校・図画の部▽優秀賞：長澤丈旺（普代小1年）
太田寧音（同3年） 大上詩代（同）▽佳作：太田我空（普代小1年） 川向涉翼（同） 葛形恵悟（同3年）
太田葉月（同） ◇ 小学校・ポスターの部▽優秀賞：中花恰奈（普代小5年）▽佳作：道下瑞葵（普代小5年）
澤口海音（同） ◇ 中学校・ポスターの部▽優秀賞：川口愛華（普代中1年） 榎谷美沙子（同） 松家実咲（同）
日向佳奈（同）▽佳作：上方さくら（同） 銭袋あかね（同） 深渡瑞稀（同）

嘉村さん、優良賞 わたしの主張久慈地区大会



嘉村佳那恵さん

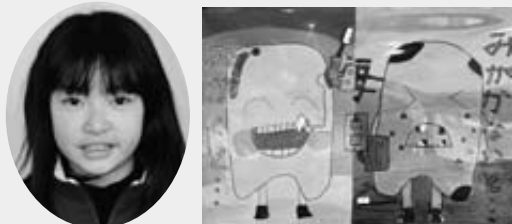
わたしの主張久慈地区大会（同実行委主催）が8月25日、久慈市侍浜中学校で開かれ、普代中3年の嘉村佳那恵さんが優良賞に入賞しました。

むし歯ゼロの児童・生徒など78人を表彰、披露しました

図画・ポスターコンクール 最優秀賞作品の紹介



大上 柚さん（普代小1年）



太田 綾音さん（普代小5年）

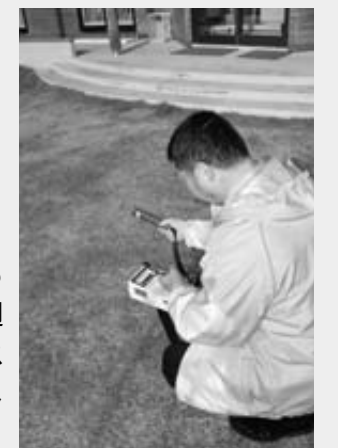


松家 芽さん（普代中1年）

が参加。各中の代表者が自分の思いを心から訴えました。嘉村さんは「海」と題して、自身の中でヒーロー的存在だった漁師の祖父が亡くなり、宝物だった船までも津波に奪われたが、祖父との思い出を大切に前向きに生きていこうと思ったことを訴えました。そして、「祖父は海のように、穏やかな海を見ると、祖父が笑っているみたい」と閉じていました。

放射線量を測定しています ホームページなどで公表

福島第1原発事故に伴う放射線物質対策として、村は8月から測定器1台をリースし空間線量率を測定しています。



測定場所は、普代小、普代中、はまゆり子ども園（写真）の3カ所で週2回。結果は村ホームページで毎月公表・更新しています。

● 村内3地点での放射線量の測定結果

- ▶ 日時…12月6日(火) 午後3時(晴れ、気温3度)
- ▶ 場所…①はまゆり子ども園園庭(地表50cm) ②普代小学校校庭(同) ③普代中学校校庭(地表1m)
- ▶ 測定結果…毎時0.07マイクロシーベルト
- ▶ 測定器…日立アロカメディカル株式会社製NaIシンチレーションサーベイメータ(空間放射線量計)



※ 国の基準は、毎時0.23マイクロシーベルトです。



申告の際に必要な控除証明書

初会合で幅広く意見交換

小中一貫校の建設構想委員会



小中学校の建設場所や現在の安全対策など幅広く意見が交わされた構想委員会の初会合

同日の会議では「揺れから最短10分で津波が来る可能性もある」「校舎を移転するにしても、現在の子どもの安全確保が重要」などの意見が出されました。学校関係者からは「普代小先行移転では、これまでの小中一貫教育の積み重ねが途切れる」との懸念も示されました。

今後は、まず現状の安全対策を考え、小中学校の在り方などを検討することになりました。委員構成は次の皆さんです。

- 委員長：太田吉信（普代中PTA会長） 副委員長：榎谷幸正（普代小PTA会長）
- 委員：新里雄一（久慈消防署普代分署長） 道合多喜夫（教育委員長） 中居正（総務課長） 日沢栄子（はまゆり子ども園園長） 小山田厚（普代小学校長） 小橋正嗣（普代中学校長） 日向ひとみ（はまゆり子ども園保護者会長） 高井俊雄（緑区行政連絡員） 野口幹夫（茂市行政連絡員） 金子一好（黒崎地区小学校PTA会長） 太田真柄（公募） 鍋梨次郎（同） 中上一登（同）

復興関連の支援求める 平野復興相が村を視察



平野復興相(中央)や津川本部長(右)らと行われた意見交換(役場)

村議会議員、議員らと意見交換しました。

榎屋村長は村の被災状況を説明した後、①漁協の種苗センターなどの復旧の際の支援②普代浜の河口など国立公園施設の復旧の際の修繕費の資金繰りに対する補助④現在防潮堤のない太田名部大沢地区、沢地区の防潮堤の建設などを要望しました。

平野復興相は午後1時過ぎ、政府東日本大震災復興対策本部の津川祥吾岩手現地対策本部長らと村を訪問。村から出席した榎屋村長、大上浩史

平野氏は「被害の状況を把握し、必要な事業は国が責任を持って予算措置するなど支援をしていきたい」と話し、「被災地の自治体は仕事量が増えている。市町村ごとどのくらいの職員が必要かも考えている」と人的支援の検討を始めたことも明らかにしました。

年末調整や確定申告の際には、控除証明書が必要です!!

平成23年1月1日から12月31日までの間に国民年金保険料を納めた方に送付される控除証明書は、年末調整や確定申告の際に社会保険料控除の対象となります。

●社会保険料控除とは？

社会保険料控除とは、自身の社会保険料（国民年金・国民健康保険・健康保険・厚生年金保険など）を納めたとき、または配偶者やそのほかの親族の負担すべき社会保険料を納めた時に受けられる所得控除のことをいいます。

年末調整の申告では、給与から天引きされた社会保険料は会社で一括して計算しますので、自分で申告書に記入する必要はありません。会社が

●証明の内容は？

証明の内容は1月から9月30日までに納付した国民年金保険料の額と、年内に納付しなければならぬ見込みの額が表示されています。申告の際は、11月に送付された控除証明書と追加で納めた保険料を合算した額を記載してください。

●家族の保険料は？

保険料は本人だけでなく、世帯主、配偶者も連携して納付しなければなりません。家族の保険料を納めた場合は、その納めた額の全額が納付した人の所得税などの控除対象となります。年末調整な

●紛失してしまったら？

万が一、控除証明書を紛失してしまった場合は、再発行ができますので控除証明書専用ダイヤルへ連絡してください。おおむね1週間程度で送付されます。

●控除証明書専用ダイヤル：0570-070-117

- 開設期間：平成23年11月1日～平成24年3月15日
- 受付時間：月～金曜日は午前8時30分～午後5時15分。ただし月曜日（月曜日が休日の場合は火曜日）は午後7時



人生80年。第二の人生を支える大切な年金(合同敬老会)

まで。第2土曜日は午前9時30分～午後4時。ただし、祝日、年末年始はご利用できません。

分からないことがありましたら、宮古年金事務所（☎0193-62-1963）へお気軽にご相談ください。



じゅんのすけくん
(はまゆり子ども園さくら組)

♫しょうじじゅんのすけくん(正路潤之介・5歳)から父・正敏さん、母・尚子さんへ

おとうさんは、ちょっとおこりやすい。でも、じゅんはおとうさんが好きだよ! だって、おにいちゃんとせんだいとかもりあかにつれていってくれるんだ。また、ふゆやすみにせんだいに行くんだって。たのしみだな! きのこをとるおしごと、がんばってね!

じゅんのおかあさんは、ろうじんホームでおとしよりのひとをおせわするおしごとをしてるから、いそがしそう。ちょっぴりおこるけど、わらっているおかあさんがじゅんは好きだ! あと、おかあさんがつくってくれるカレーがいちばん好きだ。またつくってほしいな!

くろさき荘に **マジシャン** がやって来る

「新春マジックショー」

出演

マジシャンふなだ

日時: 1月7日(土) 午後3時~
場所: 国民宿舎くろさき荘大広間
入場料: 無料

- * 無料宿泊券やお風呂券が当たるお楽しみ抽選会。
- * 当日小学生入浴無料。
- * 普代駅より送迎バスあります。(要電話予約)
- * くろさき荘見学ツアーあります。(要電話予約)

お問い合わせ...国民宿舎くろさき荘 電話35-2611



おしぎいロー ㊤
仲村妃織さん(京都府京都市・11歳)



女の子かわいいな ㊤
富山瞳莉さん(中央区・6歳)



友情を大切にね☆ ㊤
谷地真鈴さん(力持・10歳)



マリンオヤリたくなつたよ ㊤
谷地一星くん(力持・7歳)



カッパ ㊤
道上夢子さん(白井・11歳)



オシヤシな ㊤
大上 柚さん(中央区・6歳)



クワイー ㊤
仲村威慧くん(京都府京都市・10歳)



アンパンマン上手だね ㊤
中田悠真くん(力持・2歳)



服もクリスマスカラーだね ㊤
仲村妃礼さん(京都府京都市・13歳)

みんなの
イラスト
展

広報クイズ

今月もイラストありがとう! この1年、みんなのイラストで広報ふだいが明るくなつてとってもうれしかったです。また、来年もよろしく!

- 次の2つの問題を読み、3つの答えの中から正しいものを選び、はがきで応募してください。①は表紙②は14ページからの出題です。
- ①表紙の写真で園児が踊ったアイドルグループの名前は?
- ㊤ 少女時代
㊦ AKB48

はまゆり子ども園生活発表会 元気に演技を披露

はまゆり子ども園(日沢栄子園長、園児76人)の生活発表会が11月26日、同園ホールで行われました。華やかな衣装に身を包んだ園児たちは、ときどき照れながらも、ステージ狭しと一生懸命歌ったり、踊ったり。満員御礼の会場ではお父さんやお母さん、おじいちゃん、おばあちゃんら約70人が元気いっぱいの演技に盛んに拍手を送っていました。

開会前には園のマークをデザインした上区の澤口千賀子さん(44)が表彰されたほか、今年5月同園を訪れたミュージシャンの太田代将孝さんが作詞作曲した「こどもえんのうた」も披露されました。



カッコ良く決まったね! 「龍神太鼓」(さくら組)



「ほく、にんじゃだよ! にんにん」(つくし組)



立っただけでかわいいです(上:ひよこ組、下:あひる組)



「こどもえんのうた」を初披露。上手に歌えました(さくら・うめ・つくし組)

「応募の方法」

- はがきに答え、郵便番号、住所(地区名)、氏名、年齢、性別、世帯主の名前、電話番号を書いて応募してください。正解者の中から抽選で5人に図書カードをプレゼントします。
- はがきに今月号の感想や意見、イラストなど書いてください。紙上で紹介します。
- ㊤ モーニング娘。
㊦ 村消防団に贈られた賞は何賞でしょうか。
㊧ 外務大臣表彰
㊨ 農林水産大臣表彰
㊩ 総務大臣表彰

- ㊪ あて先: 〒028-8392 普代村9-13-2 普代村役場広報クイズ係
㊫ 締め切り: 1月9日(月) 当日消印有効
㊬ 11月号の答え: い(鳥)、き(マーク)、く(男の手)
㊭ 応募総数: 9通で9人が正解でした。抽選の結果、次の5人に図書カードをお送りします。おめでとうございます。
㊮ 当選者: ①中田悠真くん(力持・2歳) ②仲村威慧くん(京都府京都市・10歳) ③大上 柚さん(中央区・6歳) ④仲村妃礼さん(京都府京都市・13歳) ⑤谷地真鈴さん(力持・10歳)

お誕生おめでとう (1人)
 畠山 蒼奈(悟・幸恵) 太田名部

ご結婚おめでとう (4組)
 村山 卓見) 盛岡市
 上山ひとみ) 緑区
 澤田 大樹) 堀内
 昆 春美) 矢巾町
 三上 豊) 旭日区
 阿部 瞳) 一関市
 小野寺巧哉) 八幡平市
 羽場はるか) 中央区

お悔やみ申し上げます (0人)

交通安全 対策情報

- 村内の交通事故《11月》
 人身事故 0件(3件)
 物損事故 2件(23件)
 ※()内は1月からの累計
 飲酒運転検挙者 0人(1人)
 ※()内は8月からの累計
- 救急車の出動回数《11月》7回
- 飲酒運転検挙状況(県交通安全対策協議会調べ)
 県内34市町村中ワースト順位…1位
 (10月31日現在)
 県内の検挙者数《10月》40人

人口と世帯

	11月末現在	前月比	前年比
人口	3,018人	(+2)	(-67)
(男)	1,477人	(+1)	(-30)
(女)	1,541人	(+1)	(-37)
世帯	1,117戸	(+3)	(-4)

ご存じですか?

農業を始めたい人の相談会

県新規就農相談センターなどでは、新たな就農や農業参入希望者に向け、就農地域の紹介や技術・経営の習得、農地の確保、資金調達、農業参入を希望する企業など就農に関する相談会を次の通り開きます。入場は無料です。

▶日時…平成24年1月7日 11:00~15:00

▶場所…いわて県民情報交流センター「アイーナ」8階804会議室

▶対象者…新規の就農やUターン希望者、農業法人への就業・研修希望者、農業体験や企業などでの農業参入を希望する人、農業・農村に興味関心のある人など

▶問い合わせ先…岩手県農林水産部農業普及技術課(☎019-629-5656)、社団法人岩手県農業公社(☎019-623-9390)、岩手県農業会議(☎019-626-8545)

平成23年 成人式

1月5日(木) 午後1時30分~
 自然休養村管理センター



昨年の成人式

いわて県民計画にご意見を

県では、このほど「いわて県民計画第2期アクションプラン(政策編・地域編・改革編)」(案)を策定しました。つきましては同計画案について、地域住民の皆さんを対象とした説明会を次の通り開きます。

▶日時…12月21日 14:00~15:00

▶場所…久慈地区合同庁舎6階大会議室

▶問い合わせ先…県北広域振興局経営企画部(☎0194-53-4981)または岩手県政策地域部政策推進室(☎019-629-5509)

弁護士による無料出張相談

久慈広域消費生活センターでは、東日本大震災津波により被災された皆さんを対象とした弁護士による無料出張相談を次の通り行います。

▶日時…12月26日 13:00~16:00

▶場所…役場2階小会議室 ※久慈市役所内の同センターでも随時相談を受け付けています。(9:00~16:00、☎0194-54-8004)

▶問い合わせ先…久慈地区被災者相談支援センター(☎0194-53-4981)

医科・歯科診療所の休診

12/29(木)~1/3(火)

休診中の病気やけがなどの場合は、休日当番医などでの受診をお願いします。

社会体育館、管理センター、B&G海洋センター、村図書室も12月29日~1月3日までお休みになります。

高齢者の肺炎球菌ワクチン助成

日本赤十字社・岩手県医師会および岩手県では、高齢者の健康を守るため、次の通り肺炎球菌ワクチン接種費用を助成しています。岩手県内の医療機関で接種は可能です。

▶対象者…岩手県内に住所を有する70歳以上の人(平成24年3月31日までに70歳以上になる人)

▶助成期限…平成24年3月31日

▶注意事項…肺炎球菌ワクチンは通常5年程度有効と考えられています。接種についてはかかりつけ医に相談してください。

▶問い合わせ先…岩手県保健福祉部医療推進課(☎019-629-5466)

就職活動集中対策セミナー

ジョブカフェ久慈では、40歳未満の求職者を対象に、就職活動集中対策セミナーを次の通り行います。

▶日時…平成24年1月19日(10:00~16:30)、20日(9:30~16:00) ※2日間の参加が条件

▶場所…久慈地区合同庁舎6階第4会議室

▶対象者…40歳未満の求職者

▶内容…19日:アピール力の高い履歴書の作成など応募書類対策、マンツーマンでの書類指導 20日:面接対策、企業人事担当者による模擬面接

▶定員…15人(参加費は無料)

▶応募締切…平成24年1月12日

▶申し込み・問い合わせ先…ジョブカフェ久慈(☎・FAX 0194-53-3344)

普代村ふるさと応援基金への寄付状況(12月15日現在)

23年度分 **4,523,200円** 累計 **6,086,200円**

74件(村内31件、県内4件、県外39件)

普代村ふるさと応援寄付の申し込み・問い合わせは、村ホームページをご覧ください。ただか、総務課(☎0194-35-2111、内線114)までご連絡ください。

自動車事故相談 お気軽に

社団法人日本損害保険協会東北支部では、自動車事故に関する相談を次の通り行っています。相談には専門の相談員が応じ、相談料は無料です。お気軽にご相談ください。

▶相談日…月曜日~金曜日(祝日除く) 9:00~12:00 13:00~17:00

▶相談先…盛岡自動車保険請求相談センター(☎019-651-4495)



募集しています!

農業者年金の加入者募集!

村農業委員会では、農業者年金への加入を推進しています。農業者年金は、①国民年金第1号被保険者で、②年間60日以上農業に従事する、③60歳未満の人ならどなたでも加入できます。少子高齢化時代に強い積立方式の終身年金で、80歳までの保障がつきます。税制面の優遇措置や農業の担い手には特別な支援があります。詳しくは村農業委員会(☎35-2115)まで。

困っていたら相談を!

- 久慈地区法律相談**
 ▶期日…1月20日(金)、31日(火)▶時間…10:30~15:30▶場所…久慈市役所▶問い合わせ先…久慈市役所生活環境課(☎0194-52-8003)
- 多重債務者相談**
 ▶期日…1月26日(木)▶時間…9:00~16:00▶場所…久慈市役所▶問い合わせ先…久慈市役所生活環境課(☎0194-54-8003)
- エイズ・肝炎ウイルス・性器クラミジア検査、骨髄バンク登録**
 ▶日時…1月10日(火)①エイズ・肝炎・性器検査:14:00~16:00、17:00~19:00②骨髄バンク登録(要予約):14:00~16:00▶場所…久慈保健所▶問い合わせ先…久慈保健所保健課(☎0194-53-4987)
- 精神保健福祉相談**
 ▶日時…1月20日(金)13:30~▶場所…久慈保健所▶問い合わせ先…久慈保健所保健課(☎0194-53-4987、要予約)
- ひきこもりの若者の小さな集まり・家族会**
 ▶日時…1月19日(木)14:00~16:00▶場所…久慈保健所▶問い合わせ先…久慈保健所保健課(☎0194-53-4987)

好評発売中!!
 スティックチーズ 210円
 チーズスッペ 110円
 ※スティックチーズは冷凍販売しています。

中央区 **三船製菓** ☎35-2020

オフィス用品を **明日くる** アスクル 翌日お届け!

オフィス用品デリバリーサービス! 無料カタログ申込は下記まで

最北伝説の地 鶴岡駅前 **のだ事務機**

☎0194-36-1030 FAX0194-35-3016
 岩手日報普代販売センター 金子新聞店

畳工事一式、内装工事、ふすま・障子・屏風張替

沢口畳店

普代村13-12-8 TEL・FAX 0194-35-2561

毎月2日、12日、22日

ポイント2倍デー

(有)まるに ☎35-2201

味処 ながさわ

12/23(金)・24(土)・25(日) 年末は12月30日(金)まで営業。
 【3日間限定】いつもより具材が豊富!
ミックスピザ……950円→**900円**
シーフードピザ…1,000円→**950円**

ご注文は電話で! 店 0194-35-2313 携帯 080-6037-7008

●営業時間 18:00~23:00 ●定休日 日曜・祭日
普代村中央区 電話 0194-35-2313

肝臓が 気になる方
 二日酔いになる前に…

ご相談ください

15錠 630円 45錠 1,680円

高橋薬局 中央区 電話 35-2045

ご成人記念撮影

予約受付中!

肖像写真技能士 特典付
カトウ写真館 普代村中央区

キャビネ判以上注文の方マイカレンダープレゼント!

撮影のご予約・お問合せは ☎35-2594

DVDダビング

大切な思い出を DVDに永久保存!

ビデオテープをDVDに! ベータ・8ミリ・DVCのテープからもOK!
 当店通常価格1枚120分まで1,500円(税込)
8ミリフィルムもダビングOKです!! 価格応談

二人なかよく幼稚園の遠足
 いっしょけんめいがんばった運動会

一生心に残る名勝負…
 思い出の旅行…

有坂下電化センター TEL 35-2138

塗装

茂石総業 代表 茂石祐次 ☎35-2933

2012 **祝ご成人**

記念写真ご予約受付中

コンタクトレンズ、年内ご注文はお早めに。

普代村中央区 **まつば時計店 ☎35-2276**


普代ポイントカード会からのお知らせ!!

「毎月10名様にラッキーチャンス、2,000円の商品券が当たります」11月当選者は以下の方々です。

及川愛様(中央区) 大上食堂様(太田名部) 太田千明様(中央区)
 加山里子様(中央区) 熊谷綾子様(田野畑村) 道下賢治様(緑区)
 宮本陽子様(白井) 山崎誉様(田野畑村) ほか2名様

普代ポイントカード会 普代商工会内 ☎35-2132

お買い物は、ぜひ普代ポイントカード会加盟店のご利用をお願いいたします。



愛車の車検 お気軽にご相談ください。

民間車検だからできる **格安料金、日帰り車検!**

新車登録後5年または走行5万キロ未満のお車に限り!

●車検料例【諸掛かり込み】 ※クレジットもOKです!!

軽乗用車 55,000円~ 軽トラック 54,000円~

※その他の車種については、ご相談ください。お車の状態によりご相談させていただく場合があります。

東北運輸局長指定民間指定工場

有ナガサワ自動車整備工場

電話 **0194-35-2216**
 FAX **0194-35-2158**

もっと村のわだい
NEWS

英国からの善意の募金



英国スコットランドのグラスゴー市在住で「Japanese Matsuri for Glasgow」の戸田有信代表(61)が11月30日、村を訪れ、同団体が開催する祭りや、現地の高校生が集めるなどした募金5万5千円を寄付しました。

戸田代表と、同市と中高生の海外派遣事業で親交のある九戸村の晴山裕康総務企画課長らが役場を訪れ、戸田代表が太田敏光副村長に募金を手渡しました。(写真)太田副村長は「遠い国から普代を気遣っていただき大変ありがたい。村の復旧、復興の資金に充てたい」と感謝しました。

奇跡の列車 普代駅に停車中!

久慈―田野畑は来年4月開通



普代駅で来年4月の開業を待つ三鉄「奇跡の車両」

三陸鉄道北リアス線の普代駅に停車しているこの車両。実は3月11日の震災時、乗客・乗員16人を乗せ、白井海岸駅から普代駅に向かっていた。列車自体は被災を免れましたが、野田村や田野畑村の路線が被災したため、震災後から7カ月普代駅に停車しています。

車両の座席には、三陸鉄道の早期再開を応援する人たちが置いた「つながるんだるま」(下写真)が寄り添うように座っています。

北リアス線運行部の橋上和司久慈駅長は「数十分ずれていた被災した可能性がありました。それを免れた奇跡の車両。早く久慈―宮古間を走らせてあげたいです」と願います。

久慈―田野畑間は来年4月に開通します。


大小約250個のオレンジ色のだるまには「早く走り出せませうよ」「夢を乗せて走る三鉄が早く復旧しますよ」「うに」などとメッセージが書かれています。



交通安全News

安全運転 お願いします!

冬の交通安全街頭指導が12月12日、普代郵便局前などで行われました。岩手県交通安全協会普代分会員、同シルバード部員、村交通安全母の会会員、村交通指導員ら約30人が、ドライバーに安全運転を呼び掛けました。(写真)



チョウセンアカシジミのホームページが完成!!

村天然記念物・チョウセンアカシジミのホームページが完成しました。皆さんのぞいてみてください。アドレス：http://www.vill.fudai.iwate.jp/coreana_raphaelis/index.html

「えほんカー」 お目見え

3・11絵本プロジェクト(末盛千枝子代表)は12月7日、「えほんカー」1台と児童書750冊(写真)を村に寄贈しました。

同プロジェクトは東日本大震災の被災地の子どもの心のケアのため



に絵本を届けようと、支援金を活用してえほんカー16台を購入。そのうち1台が村に届けられました。今後、教育委員会では普代小やまゆり子ども園、生活支援ハウスの本を運ぶ際、移動図書館車として活用します。



普代小児童作
フェイス君

◎きっちり手洗いとしっかり加熱で、ノロウイルスを徹底予防!

1月のこんなこと、あんなこと

日	月	火	水	木	金	土			
1/1 (先勝) 	2 (友引)	3 (先負)	4 (仏滅) ・冬期特定健診・がん検診、 官庁仕事始め	5 (大安) ・普代村成人式(13:30~、 ・新年交賀会(14:00~、くろさき荘) ・ジフテリア、百日ぜき、破傷風・麻しん、風しんI期予防接種(受け付け13:30~13:45、 	8 (友引) ・普代村消防団出初式(14:00~、 	9 (先負) 成人の日 	11 (大安) 	13 (先勝)	14 (友引)
15 (先負) 	17 (大安) ・普代中3学期始業式 	18 (赤口) ・2歳児健康教室(受け付け12:00~12:15、 	19 (先勝) ・普代小3学期始業式 	23 (先勝) ・BCG接種(受け付け13:30~13:45、 	25 (先負) ・2歳6カ月児歯科教室(受け付け12:00~12:15、 	26 (仏滅) ・乳児健診(受け付け12:00~12:30、 ・ブックスタート 	27 (大安)	28 (赤口)	
29 (先勝) 岩手・宮城・福島の3県のアナログテレビ放送は2012年3月31日に終了します!! 早めの対応を!!	30 (友引)	31 (先負) ・村民税第4期納期限 ・国民健康保険税第5期納期限 	2 (大安) ・人権なんでも相談所(10:00~15:00、 ・ジフテリア、百日ぜき、破傷風・麻しん、風しんI期予防接種(受け付け13:30~13:45、 	◎は保健センター ⑩は北緯40度野球場 ⑪は社会体育館 ⑫は管理センター ⑬はふれあい交流センター ⑭は医科診療所 ⑮は子育て支援室 ⑯は海洋センター					

広報ふだい12月号 No.595

発行日 平成23年12月22日
 編集 普代村役場 総務課
 〒028-8392
 岩手県下閉伊郡普代村
 第9地割字銅屋13番地2
 TEL 0194-2111 FAX 0194-3017
 ホームページ <http://www.vill.fudai.iwate.jp>
 電子メール fudai@vill.fudai.iwate.jp
 印刷 有限会社 九戸印刷

▼ やっと1年が暮れようとしています。正直つらい1年でしたが、新しい年を皆さんが笑顔で迎えられたらと思いい、急ぎよ、「歩み続けた普代村」を企画編集しました。村の人の頑張りや頭が下がり、村を支援してくださった多くの人に感謝した1年でした。▼小生なりに1年を振り返ると、津波を見た人の証言や復興の様子など、もっともっと後世のために、取材し残さなければならぬことがあったように思います。でも、自分の中にいつも戸惑いがありました。取材で被災現場に行っても、インタビューができないのです。なぜと、考えるのですが答えは出てきません。記録を残すという広報の一つの目的からいえば、広報マン失格ですね(苦笑い)▼本号が刷り上がったらもう一度皆さんの笑顔を見てパワーをもらい、来年も頑張りたいと思います。1年間ご協力ありがとうございました。(森田)

ホッと一息

